

**テクニカルニュース**

1997年 7月 1日

**表 題** SW1 IVD / NX - GPPQオペレーティングマニュアル追記 / 修正のご連絡**適用機種**  
SW1 IVD / NX - GPPQ形GPP機能ソフトウェアパッケージ  
オペレーティングマニュアル(オフライン編) IB - 68699 - A  
SW1 IVD / NX - GPPQ形GPP機能ソフトウェアパッケージ  
オペレーティングマニュアル(オンライン編) IB - 68700 - A

三菱汎用シーケンサMELSEC - QnAシリーズに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
SW1 IVD / NX - GPPQソフトウェアパッケージオペレーティングマニュアルへの追記事項  
ありますのでその内容をご連絡します。

本テクニカルニュースは、PLC-D-276-B に下記の内容を追記、修正したものです。

オフライン編 2.1.1 項(追記)...9 ページ  
オンライン編 2.1.1 項 2.1.2 項(修正)...12 ページ

**SW1 IVD / NX - GPPQ形GPP機能ソフトウェアパッケージオペレーティング  
マニュアル(オフライン編) IB - 68699 - Aへの追記事項**

追記対象項目は次のとおりです。詳細は、本テクニカルニュースの3~11ページに示します。

対象項目	見出し	内容
2.1.1 項	PC9800 使用時	追記
2.1.2 項	DOS/V パソコン使用時	追記
5.1.1 項	ソフトウェアパッケージの登録	誤記
5.2.1 項		追記
6.2.2 項	回路モードの制約事項	追記
15 章	終了モード	追記
17.1 項	各モード共通エラーメッセージ	追記

**SW1 IVD/NX - GPPQ形GPP機能ソフトウェアパッケージオペレーティング  
マニュアル(オンライン編) IB-68700-Aへの追記**

追記対象項目は次のとおりです。詳細は、本テクニカルニュースの12~15ページに示します。

対象項目	見出し	内容
2.1.1	PC9800 使用時	修正
2.1.2	DOS/V パソコン使用時	修正
3.3.2	ネットワーク番号、PC 番号設定時の GPP 機能	修正
5.1.2	PC 新規読出し	追記
6.2.1	RUN 中書込み	修正
6.5.2	強制 ON/OFF	追記
6.5.3	現在値変更	追記
6.10.1	デバイス一括モニタ	追記
6.10.15	モニタ欄数値表示切換え	追記
13.2.1	ファイル PC(読出し)	修正
13.2.2	ファイル PC(書込み)	修正

SW1 IVD / NX - GPPQ (オフライン編) IB-68699-A への追記内容

追記

2.1.1 項 PC9800 使用時

**SW1NX-GPPQ は、Windows3.1 の DOS 互換ボックスで使用できません。**

(1)Windows95 の DOS 互換ボックスからオンライン操作を行う場合は、下記設定が必要になります。

(a)通信ポートのドライバを外す。(本テクニカルニュース 3/15 ページ参照)

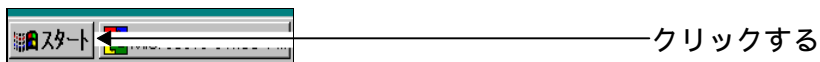
(b)MS-DOS プロンプトのプロパティで“MS-DOS プログラムに Windows を検出させない”がチェックされていないか確認する。(本テクニカルニュース 8/15 ページ参照)

制約事項：通信ポートのドライバを外したままで、ほかのソフトウェアパッケージ(SW NIW-AGOTP など)から通信機能を行おうとすると通信できませんので、使用する場合は必ず設定を元に戻してください。

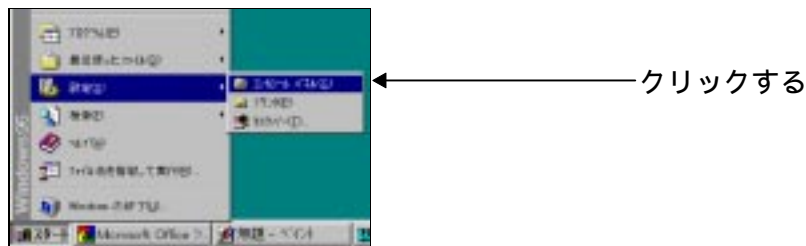
上記(a)、(b)の操作手順を次に示します。

**通信ポートのドライバを外す操作手順**

1. タスクバーの“スタート”をクリックする。



2. “設定” “コントロールパネル”をクリックする。



3. “システム(パソコンの絵)”をダブルクリックする。



4. “デバイスマネージャ”をクリックする。



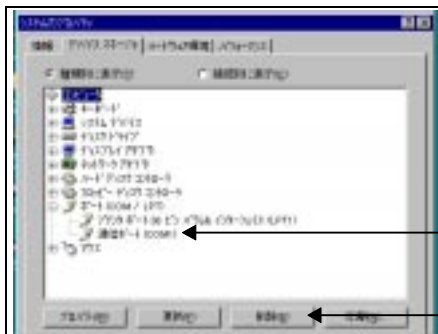
5. "ポート"をダブルクリックする。



ダブルクリックする

6. 通信ポートは、COM1 と COM2 があれば両方外してください。

"通信ポート 1(COM1)"をクリック(このとき通信ポート 1 の文字が反転表示される)し、画面下方にある [ 削除 ] をクリックする。(通信ポート 2(COM2)を削除するときも同じ操作をする)



クリックする

クリックする

7. "デバイス削除の確認"が表示されるので [ OK ] をクリックする。



クリックする

8. [ 閉じる ] をクリックする。



クリックする

次に、"MS-DOS プロンプトのプロパティ"を設定します。(本テクニカルニュース 8/15 ページ参照)

SW1 IVD / NX - GPPQ (オフライン編) IB-68699-A への追記内容(つづき)

外した通信ポートドライバを自動でもとに戻す場合の操作手順

外した通信ポートは Windows を再起動したとき自動検出します。また、ハードウェアウィザードから外した通信ポートを自動的にもとに戻すことができます。

下記はハードウェアウィザードからもとに戻す操作手順を示しています。

1. 通信ポートを外す操作手順の 1,2 を行ってください。
2. "ハードウェア"をダブルクリックする。



ダブルクリックする

3. "インストールを始めるには [次へ] を押してください。"と表示されるので [次へ] をクリックする。



クリックする

4. "新しいハードウェアを自動的に検出しますか?"と表示されるので"はい"をクリックして [次へ] をクリックする。



クリックする

後の操作は、画面の指示に従って操作してください。

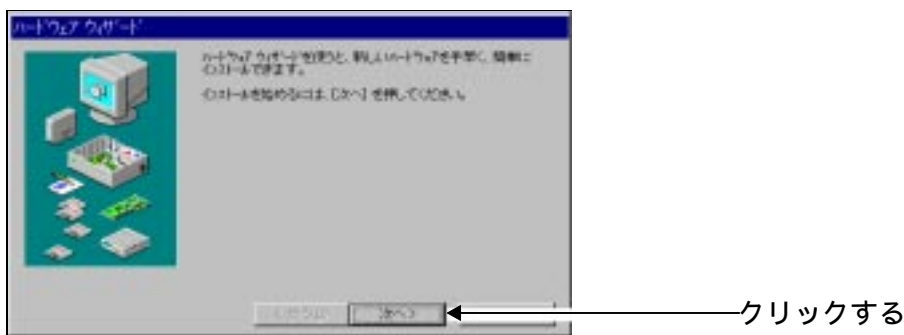
## 外した通信ポートドライバを自動でもとに戻せない場合の操作手順

ハードウェアウィザードを選択して外した通信ポートを自動的にもとに戻せない場合は下記操作を行ってください。

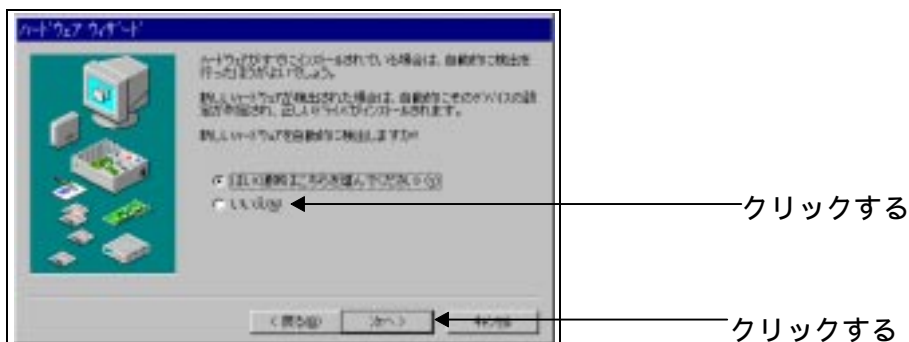
1. 通信ポートを外す操作手順の 1,2 を行ってください。
2. "ハードウェア"をダブルクリックする。



3. "インストールを始めるには [次へ] を押してください。"と表示されるので [次へ] をクリックする。

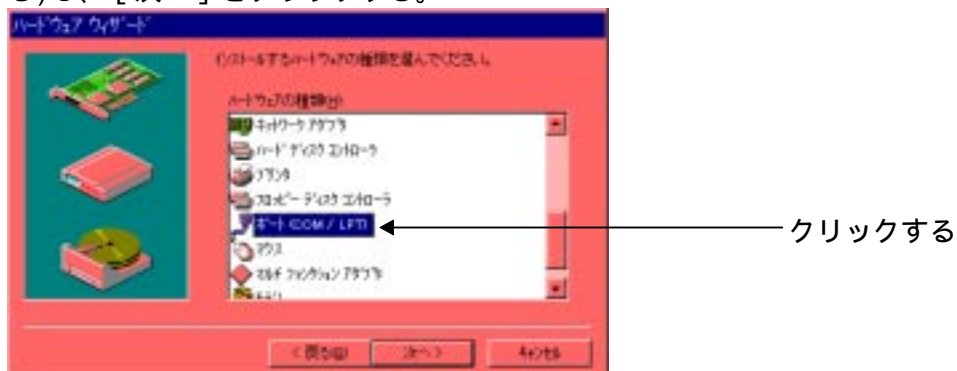


4. "新しいハードウェアを自動的に検出しますか?"と表示されるので"いいえ"をクリックして [次へ] をクリックする。

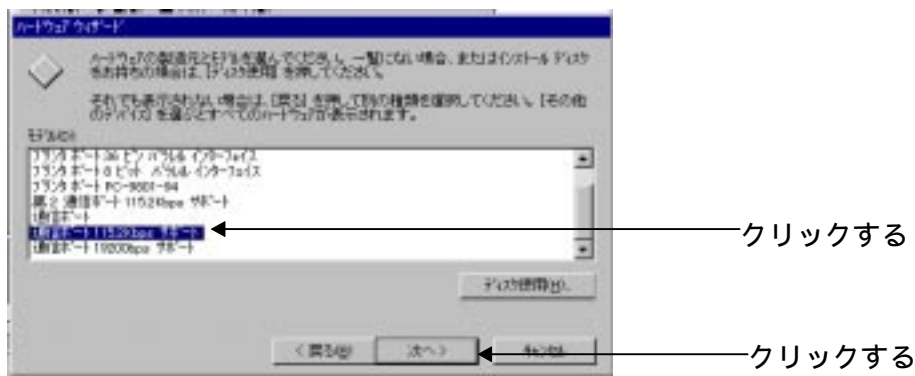


SW1 IVD / NX - GPPQ (オフライン編) IB-68699-A への追記事項 (つづき)

5. ハードウェアの種類を「ポート(COM/LPT)」をクリック(このときポート(COM/LPT)の文字が反転表示する)し、[次へ]をクリックする。



6. 通信ポート 115.2KBPS サポートをクリックし [次へ] をクリックする。

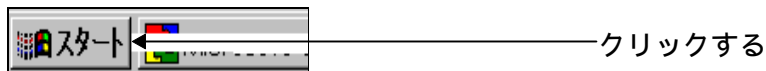


上記操作手順で通信ポート19200BPS サポートもインストールしてください。

これより先の操作手順は、パソコンの環境によって異なりますので、画面の指示に従って操作を行ってください。

・MS-DOS プロンプトの"プロパティ"の設定は、下記の操作手順で行ってください。

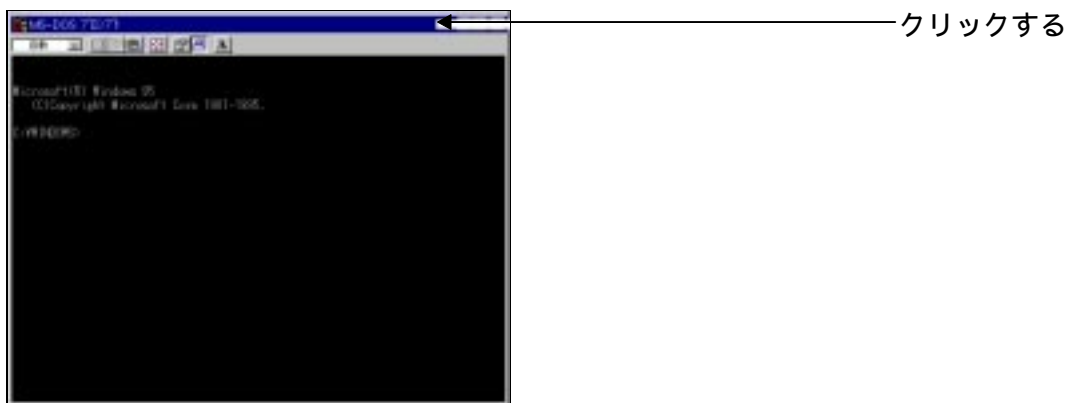
1.タスクバーの"スタート"をクリックする。



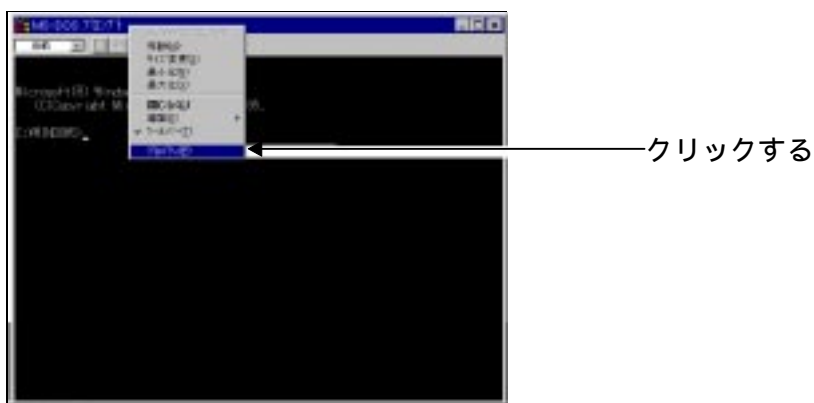
2."プログラム" "MS-DOS プロンプト"をクリックする。



3.MS-DOS プロンプトウィンドウの上部タイトルを左クリックする。



4."プロパティ"をクリックする。





SW1 IVD / NX - GPPQ (オフライン編) IB-68699-A への追記事項 (つづき)

5. "詳細設定" をクリックする。



クリックする

ポイント

1. DOS 互換ボックスでオンライン操作時、通信を安定させるために下記操作を行ってください。  
左記画面の"その他"をクリックする。  
"ほかのプログラムの優先度"の設定を「低」に設定する。
2. 下記項目がチェックされていると GPPQ が立ち上がりませんので確認してください。  
左記画面の"メモリ"をクリックする。  
コンベンショナルメモリの"プロテクト"がチェックされている場合は、チェックをはずしてください。

6. "MS-DOS プログラムに Windows を検出させない" に チェックされていないか確認する。

チェックされていると、DOS 互換ボックスで GPP 機能が使用できません。

チェックされている場合は、 をクリックして [OK] をクリックしてください。



クリックする

7. [OK] をクリックして MS-DOS プロンプトを終了し、MS-DOS プロンプトを立上げ直してください。



クリックする

8. SW1NX-GPPQ を実行する。

**追記**

## 2.1.2 項 DOS/V パソコン使用時

日本語 MS-DOS で GPPQ 英語版を使う場合の制約

- (1)日本語 MS-DOS で英語版を使用する場合は、US コマンドまたは CHEV コマンドで英語モードにしてください。SWITCH コマンドにより日本語 MS-DOS を英語モードにて立ち上げた場合は GPPQ は立ち上がりません。
- (2)Windows95 の MS-DOS モードまたは DOS 互換ボックスにて GPPQ を使用できますが、DOS 互換ボックスで使用する場合は、プロパティの“プログラム” “バッチファイル”の項目に“DOSIME”を設定してください。

上記設定が無い場合、DOS 互換ボックスで日本語が使用できません。

**誤記** **追記**

## 5.1.1 項 5.2.1 項 ソフトウェアパッケージの登録

(誤記)

インストール先のディレクトリには、GPP 機能がインストールされています。

削除してもよろしいですか? というメッセージは表示されません。

(追記)

SW01VD-GPPQ(Ver K) / SW0NX-GPPQ(Ver R) / SW11VD-GPPQ(Ver D)以前がインストールされているディレクトリに SW11VD-GPPQ(Ver E) / SW1NX-GPPQ(Ver A)以降をインストールすると、GPP 機能が正常に立ち上がらないことがあります。

この場合は、インストールされている GPPQ を削除するか現在インストールされているディレクトリとは別のディレクトリにインストールしてください。

GPPQ 削除方法(GPPQ が C ドライブにインストールされている場合)

削除は DOS プロンプトまたは MS-DOS モードで C:¥>GPPQ¥SYS¥Delhd とキーインしてください。

HD デリータ画面が表示されます。

キーインすると“GPP 機能を削除しますか(Y/N)?”と表示されるので キーインしてください。

“ユーザファイルも削除しますか(Y/N)?”で キーインするとユーザ作成ファイルも削除されるので注意してください。(削除しない場合は キーインしてください。)

**追記**

## 6.2.2 項 回路モードの制約事項

- (7)列挿入処理は、カーソルが命令途中の位置にある場合は実行できません。



- (8)1 回路ブロックが 2 行以上の回路で、1 命令が 1 行に収まらない命令のときは、下記のように折り返してから命令を入力してください。(自動的に折り返しを行わないため)

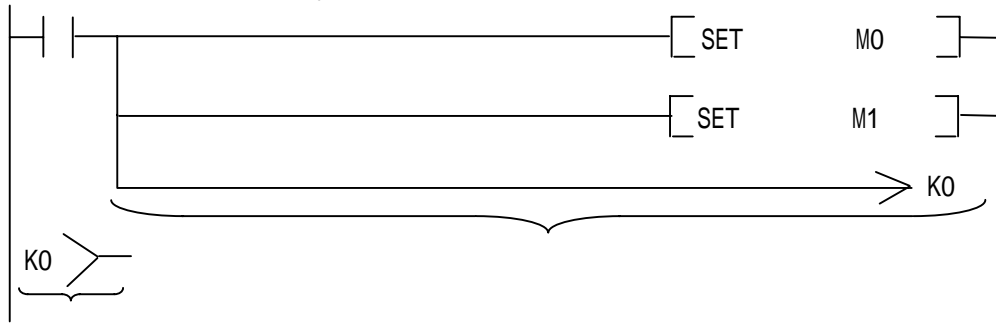
(例)S.BPI ZR12345 ZR12345 ZR12345 ZR12345 ZR12345 を入力する場合

< 回路作成できる場合 >

は、ユーザで作成してください。作成方法は、SW11VD/NX-GPPQ(オフライン編)の 6.2.2 項(3)を参照してください。

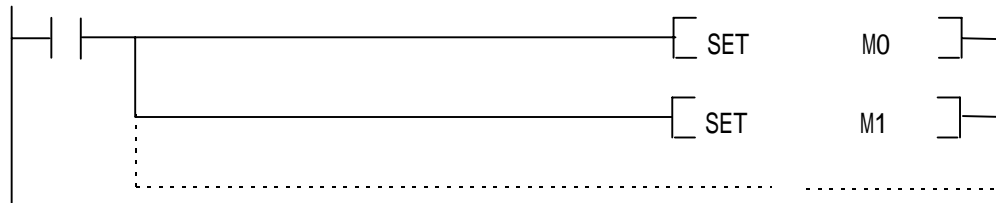
SW1 IVD / NX - GPPQ (オフライン編) IB-68699-A への追記事項 (つづき)

の位置から作成することができます。



<回路作成できない場合>

例に示した命令を に作成しようとしても作成できません。

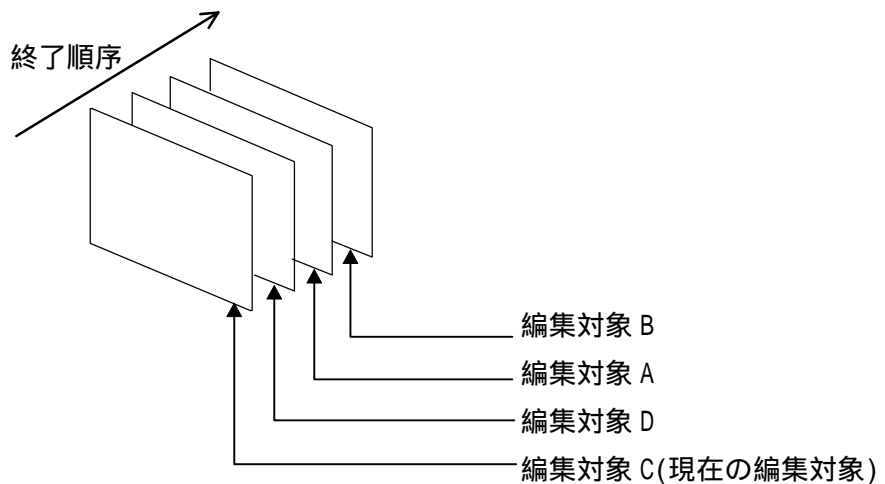


追記

15章 終了モード

ファイルを複数読み出して編集を行っているときは、下記のように編集していた履歴をたどって終了します。

(例) 編集対象 B 編集対象 A 編集対象 D 編集対象 C と編集した場合



追記

17.1 項 各モード共通エラーメッセージ

“選択できません” のエラーメッセージに原因と処置を追加

エラーメッセージ	原因	処置
選択できません	ファイル新規読出、PC 新規読出にて編集対象ファイルを 5 つ以上選択しました。	編集できるのは 4 つまでです。ファイルの選択は 4 つ以下で行ってください。

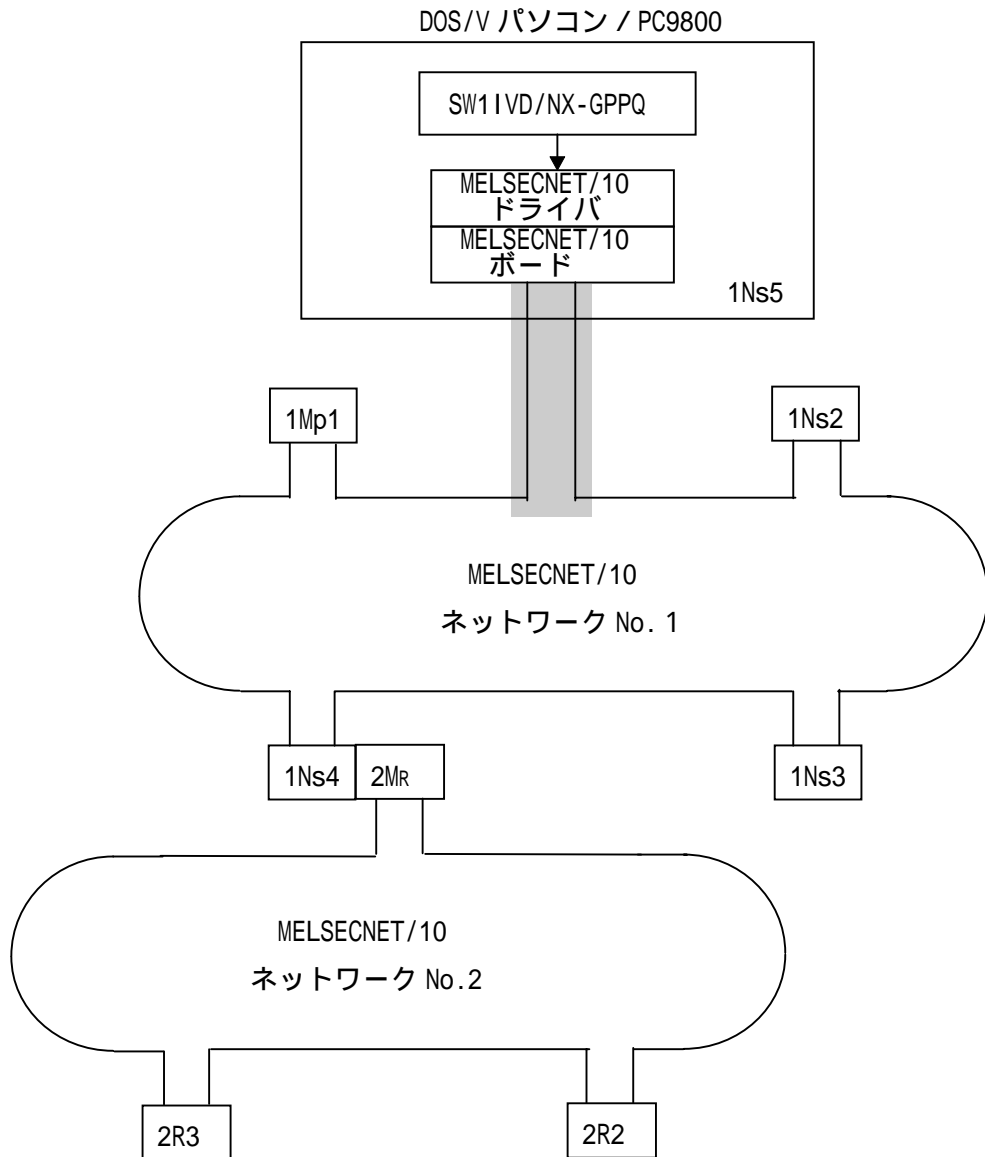
**SW11VD/NX-GPPQ (オンライン編) IB-68700-A への追記内容**

**追記**

2.1.1 項 PC9800 使用時

2.1.2 項 DOS/V パソコン使用時

SW11VD/NX-GPPQ から MELSECNET/10 ボード経由で CPU にアクセスできます。



DOS/V パソコン用 MELSECNET ボード	PC9800 用 MELSECNET ボード	備 考
A70BD-J71QLP23	A98BD-J71QLP23	MELSECNET10 光リンク用
A70BD-J71QBR13	A98BD-J71QBR13	MELSECNET10 同軸バス用

MELSECNET/10 ボード経由通信を行う場合、ドライバの制約事項があるので下記に示します。

・他ネットワークアクセス……………ドライバのソフトウェアバージョン 30D 以降にて対応

(DOS/V パソコン使用時 : SW01VDWT-MNET10P)

(PC9800 使用時 : SWONDWT-MNET10P)

SW1 IVD / NX - GPPQ (オンライン編) IB-68700-A への追記事項 (つづき)

修正

3.3.2 項 ネットワーク番号、PC 番号設定時の GPP 機能

(2) PC 間ネットとリモート I/O ネットが接続されている場合

(修正前)

アクセス 対象局  GPP 接続局	アクセス可能な他局(PC 番号)						
	ネットワーク 1				ネットワーク 2		
	QnA (1-1)	管理局 QnA (1-2)	AnA (1-3)	AnU (1-4)	管理局 QnA (2-0)	リモート局 (2-1)	リモート局 (2-2)
QnA (1-1)	自局	1-2	×	×	1-2	×	×
QnA (1-2)	1-1	自局	×	×	自局	×	×
AnA (1-3)	接続不可						
AnU (1-4)							
QnA (2-0)	1-1	自局	×	×	自局	×	×
リモート局(2-1)	1-1	2-0	×	×	2-0	×	×
リモート局(2-2)	1-1	2-0	×	×	2-0	×	×

(修正後)

アクセス 対象局  GPP 接続局	アクセス可能な他局(PC 番号)					
	ネットワーク 1				ネットワーク 2	
	QnA (1-1)	管理局 / マスタ局 QnA (1-2) (2-0)	AnA (1-3)	AnU (1-4)	リモート局 (2-1)	リモート局 (2-2)
QnA (1-1)	自局	1-2	×	×	2-1	2-2
QnA (1-2)	1-1	自局	×	×	2-1	2-2
AnA (1-3)	接続不可					
AnU (1-4)						
QnA (2-0)	1-1	自局	×	×	2-1	2-2
リモート局(2-1)	1-1	2-0	×	×	自局 <sup>*1</sup>	×
リモート局(2-2)	1-1	2-0	×	×	×	自局 <sup>*1</sup>

\* 1 は下記の範囲で実行できます。

1. 自局(FF)の X,Y,B,W のデバイスモニタが可能
2. 回線モニタ, 状態モニタ(マスタ局のモニタ)が可能
3. ループテスト, 設定確認テスト, 局順確認テスト, 交信テストが可能

**追記**

## 5.1.2 項 PC 新規読出し

**F1**キーインにより、最大4本のプログラムをGPPQ上の編集対象A~Dへ一括で読出すことができます。

(1)読出しは、接続先のPCと対象メモリが選択された状態で行うことができます。

(2)複数編集対象読出しの場合は、コメントの共有はできません。

(3)複数ファイルによる読出し

“対象”で選択された種別のファイル(パラメータ/シーケンス(SFC)プログラム/コメント/デバイス初期値/のうちで\*が選択された種別)を読出し対象とします。

ドライブに編集対象ファイルが4つ以下の場合はすべて読出します。

また、5つ以上存在する場合は、ファイルを名前順(A~Z)にソートして先頭から4ファイルを編集対象として読出します。

**読み出し時の注意事項**

- ・シーケンスプログラム名、コメントファイル名などが同一の場合は、1編集対象(編集対象A)として読み出されます。

- ・シーケンスプログラム名、コメントファイル名が異なる場合は、別編集対象として編集対象Aにシーケンスプログラム、編集対象Bにコメントファイルを読出します。

**修正**

## 6.2.1 項 RUN 中書込み

(修正前) “いいえ”を選択すると周辺上の回路ステップ No.が変化するだけで実際 RUN 中書込みされません。



(修正後) “いいえ”を選択すると RUN 中書込みを行いません。また、変換も行いません。

**追記**

## 6.5.2 項 強制 ON/OFF

## 6.5.3 項 現在値変更

テストモードでカーソルをビットデバイス(T/C/ST)の位置に合わせ、**SHIFT** + **ENTER** キーインするとカーソル位置のデバイスがON/OFF反転します。

また、ワードデバイス時は、カーソル位置のデバイスに対する現在値変更ダイアログボックスを表示します。

**ポイント**

SFC ZOOM 回路では、モニタモードで上記の強制 ON/OFF、現在値変更を行うことができません。

## SW1 IVD / NX - GPPQ (オンライン編) IB-68700-A への追記事項 (つづき)

## (追記)

## 6.10.1 項 デバイス一括モニタ

- ・ビットデバイス時のみ F10 キーインで 1 行表示デバイスを 10 点 ↔ 16 点に切換えることができます。
- ・10 点表示選択時、数値表示は行われません。

## (追記)

## 6.10.15 項 モニタ欄数値表示切換え

モニタ欄数値表示切換えの登録モニタ欄表示段数で“なし”を選択すると下記の項目のみを表示します。

1. スキャンタイム
2. モニタ間隔
3. 運転状態
4. モニタ先

上記は、モニタモード/デバッグモード/テストモードで表示される登録モニタ欄が対象となります。

## (修正)

## 13.2.1 項 ファイル PC(読出し)

F2 キーインにより、シーケンサ CPU 内のファイルを HD/FD の指定したディレクトリに読出します。

- (1) ファイル一覧の表示についてはファイル名は A~Z の順に表示し、ファイル種別はパラメータ /シーケンス(SFC)プログラム/コメント/デバイス初期値の順で表示します。
- (2) F2 キーインすると“実行しますか?”のダイアログボックスを表示します。
- (3) Y キーインで実行します。

## (修正)

## 13.2.2 項 ファイル PC(書込み)

F1 キーインにより周辺機器 HD/FD 内のファイルを PC の指定された対象メモリに書き込みます。

- (1) 機械名表示画面で F1 キーインすると機械名内にあるシーケンス(SFC)プログラム/コメント /デバイス初期値のファイルを一括転送します。
- (2) ファイル名表示画面では SP キーインで一括転送したいファイルを複数選択することができます。
- (3) ファイル一覧の表示についてはファイル名は A~Z の順に表示し、ファイル種別はパラメータ /シーケンス(SFC)プログラム/コメント/デバイス初期値の順で表示します。
- (4) F1 キーインすると“実行しますか?”のダイアログボックスが表示します。
- (5) Y キーインで実行します。

**お問い合わせは下記へどうぞ**

本社機器営業部..... (03)3459-5662  
北海道支社..... (011)212-3785  
東北支社..... (022)216-4546  
北関東支社..... (048)653-0256  
神奈川支社..... (045)224-2625  
東関東支社..... (0471)62-3611  
新潟支社..... (025)241-7227  
北陸支社..... (0762)33-5502  
中部支社..... (052)565-3314  
静岡支店..... (054)251-2855

浜松支店..... (053)456-7115  
豊田支店..... (0565)34-4112  
岐阜支店..... (0582)63-8787  
三重支店..... (0592)29-1567  
関西支社..... (06) 347-2771  
京滋支店..... (075)361-2191  
兵庫支店..... (078)392-8561  
中国支社..... (082)248-5445  
四国支社..... (0878)25-0055  
九州支社..... (092)721-2247

**三菱電機 FA 機器 TEL.FAX 技術相談**

**インターネットによる三菱電機 FA 機器技術情報サービス**

<MELSEC-A, LM シリーズ TEL 技術相談> 受付/9:00~19:00, 月曜~木曜, 9:00~17:00 金曜(土曜、日曜、祭日は除く) MELFANS web ホームページ: <http://www.nagoya.melco.co.jp/>

名古屋製作所...(052)711-5111

<GOT専用TEL 技術相談> 受付/9:00~17:00, 月曜~金曜(土曜、日曜、祭日は除く)

名古屋製作所...(052)712-2417

<QnA専用TEL 技術相談> 受付/9:00~17:00, 月曜~金曜(土曜、日曜、祭日は除く)

名古屋製作所...(052)712-5915

<FAX技術相談> 受付/10:00~16:00, 月曜~金曜(土曜、日曜、祭日は除く)但し、受付は常時

MELSEC-A シリーズ・LM シリーズ:

本社機器営業第二部...(03)3459-5619

中部支店機器第二部...(052)565-3349

関西支店機器第二部...(06)347-2657